

# 第2回カーボンニュートラル賞 中国四国支部

2014年5月23日



カーボンニュートラル大賞選考委員会  
カーボンニュートラル賞選考委員会  
カーボンニュートラル賞運営委員会

## カーボンニュートラル賞 表彰にあたって

当協会は2009年末に、日本建築学会をはじめとする建築関連17団体の一員として「建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050 カーボン・ニュートラル化を目指して」(2009年12月)という提言を行いました。その後、各団体はそれぞれこの提言に沿ったアクションプランを実行することになりましたが、当協会では地球環境委員会を立ち上げ、大震災後の節電対応パンフレットの作成、Webカーボンニュートラル建築館の創設、海外ZEB調査など、提言実現のための施策立案とその実施に取り組んでまいりました。カーボンニュートラル賞制度の創設もその活動の一つです。この賞の目的は、「提言」の趣旨に沿うような優れた技術やプロジェクトを見出し、それに係わった関係者の努力を評価することによって、このような取り組みに拍車をかけ、地球温暖化防止に貢献することです。

このカーボンニュートラル賞は、当協会の8つの支部ごとに選定していますが、これは地域の気候や建物運用あるいは建築文化を配慮すると同時に、支部独自の選考を行うことによりカーボンニュートラルへの取り組みを支部としても積極的に取り組むことを期待していることによります。カーボンニュートラルというテーマは省エネルギーというテーマに比べてその評価に難しい側面がありますが、賞の応募や評価を続けることによって、当協会として、カーボンニュートラルという概念を整理・確立したいと考えています。

今回は前回に比べて多くの応募がありましたが、次回はさらに多く応募していただき、建築設備技術者のカーボンニュートラルへの取り組みと貢献を、益々多くの方が知っていただくことになることを期待しています。

カーボンニュートラル賞運営委員会 委員長  
川瀬 貴晴

## カーボンニュートラル賞 概要と目的

カーボンニュートラル賞とは、建物からのCO<sub>2</sub>排出をできるだけゼロに近づける「カーボンニュートラル化」に資する、以下に示す建築設備の取り組みを表彰するものである。①省エネルギーへの取り組み、②低カーボンエネルギーへの転換、③再生可能エネルギー利用・工夫、④カーボンクレジット等。これらの視点をもって2段階の体制にて選考を行う。1つ目は主目的である、地域制など業績の特性を評価し、支部ごとのエリア活性化を図るため、応募業績の所在地に関わる当協会支部ごとのカーボンニュートラル賞選考委員会を設置し、「カーボンニュートラル賞」の選考を基本として実施する。

さらに2つ目として、それらの中から大賞選考委員会により、「カーボンニュートラル大賞」や「選考委員特別賞」、「選考委員奨励賞」を選考したものである。

## カーボンニュートラル賞 選考結果報告

今年のカーボンニュートラル賞として、応募された業績は、新築物件だけではなく改修物件もあり、更には建築物全体を対象としたものと建築設備単独のものもあり、多様性に富んでいた。その中から各支部の選考委員会により、9件（関東支部2件、その他支部各1件）が決まった。

さらに、カーボンニュートラル大賞は、カーボンニュートラル賞9件の中から特にカーボンニュートラルに資するもの1件が選考された。また、カーボンニュートラル大賞に迫る評価を受けた1件が選考委員特別賞として選考された。また、本年は前述した通り様々な業績の種類・対象があったので、選考された2賞に次いで評価が高かった3件の業績を選考委員奨励賞として選考することとした。

## 支部選考委員会 委員長

北海道支部	魚住昌広
東北支部	黒澤正志
関東支部	近藤高夫
北信越支部	藤木康市
中部支部	馬瀬英成
近畿支部	弓崎幸治
中国・四国支部	有吉 修
九州支部	武田由照

## カーボンニュートラル賞 受賞者・受賞業績

カーボンニュートラル大賞（1件）		
受賞業績名	受賞者名（代表応募者）	
栃木県庁舎における低環境負荷建築の実現	株式会社 日本設計	
カーボンニュートラル大賞選考委員会「選考委員特別賞」（1件）		
受賞業績名	受賞者名（代表応募者）	
清水建設本社におけるZEBを目指した最先端環境技術の導入	清水建設 株式会社	
カーボンニュートラル大賞選考委員会「選考委員奨励賞」（3件）		
受賞業績名	受賞者名（代表応募者）	
アミノアップ化学における総合的な環境負荷低減	株式会社 アミノアップ化学	
大正製薬関西支店の環境計画と実施	株式会社 竹中工務店	
名古屋三井ビルディング本館における省CO <sub>2</sub> 改修	株式会社 日本設計	
カーボンニュートラル賞（9件）		
支部	受賞業績名	受賞者名（代表応募者）
北海道支部（1件）	アミノアップ化学における総合的な環境負荷低減	株式会社 アミノアップ化学
東北支部（1件）	「秋田県立横手青陵学院中学校・高等学校」雪冷房システム	株式会社 日本設計
関東支部（2件）	栃木県庁舎における低環境負荷建築の実現	株式会社 日本設計
	清水建設本社におけるZEBを目指した最先端環境技術の導入	清水建設 株式会社
北信越支部（1件）	寒冷地のシティホテル（新潟グランドホテル）における省CO <sub>2</sub> 指向型設備リニューアル事業	菱機工業 株式会社
中部支部（1件）	名古屋三井ビルディング本館における省CO <sub>2</sub> 改修	株式会社 日本設計
近畿支部（1件）	大正製薬関西支店の環境計画と実施	株式会社 竹中工務店
中国・四国支部（1件）	心臓病センター榑原病院における省エネルギーの取り組み	社会医療法人社団十全会 心臓病センター榑原病院
九州支部（1件）	伊万里有田共立病院のエコ換気量制御他によるカーボンハーフホスピタルに向けた取組み	株式会社 日建設計

## 第2回カーボンニュートラル賞 中国四国支部



### 心臓病センター榊原病院における省エネルギーの取り組み

### 心臓病センター榊原病院における省エネルギーの取り組み

#### 受賞者名

建築主	社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
設計者	(株)アーキスコープ、(株)竹中工務店
施工者	(株)竹中工務店
建物管理者	社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
建物利用者	社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
建築設備士	上田真也 (株)竹中工務店)

# 心臓病センター榊原病院における省エネルギーの取り組み

## 建物概要

所在地	岡山県岡山市北区中井町2丁目5-1
建物用途	病院
建築主	社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院
延床面積	46,585.05m <sup>2</sup>
階数	地上7階, 塔屋2階
竣工年月	2012年8月

# 心臓病センター榊原病院における省エネルギーの取り組み

## 講評

Low-e複層ガラスの採用などの建物負荷の低減, 自然光(明かり窓)・自然風の活用の有効活用, 雨水・井水の利用に加え太陽光発電を設置するなど自然エネルギーの利用を積極的に行っている。また, 照明の効率的配置, 高効率機器の採用やBEMSによる見える化などにより積極的にエネルギーの有効利用を図っている。

高機能化高集積化が進む病院という特殊用途にも関わらず, 汎用品の組み合わせ・運用により大きな省エネを達成し, その上, 増築・改修も考慮するなど, 将来性も含め大いに評価できる。

中国四国支部カーボンニュートラル賞選考委員会委員長  
有吉 修